

令和3年12月10日（金）

JTE 相墨かおり

ALT Emily Grace Pham

1 単元名 Let's think about our food (*New Horizon Elementary 6 Unit 6*)

2 単元の目標

先生方に食べてもらいたいカレーを紹介するために、オリジナルカレーの食材とその産地や栄養素などについて、伝えたい内容を整理し、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

また、自分が伝えたい内容を、例文を参考に音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて読み手が読みやすいように意識して書くことができる。

3 関係する学習指導要領における領域別目標

話すこと [発表]	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	<p><知識> 食材とその産地や栄養素などについて、I ate ～. I usually eat ～. ～is from… ～ is in the … group. などの表現を理解している。</p> <p><技能> 食材とその産地や栄養素などについて、話す技能を身に付けている。</p>	先生方に食べてもらいたいカレーを紹介するために、使いたい食材とその産地や栄養素などについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話している。	先生方に食べてもらいたいカレーを紹介するために、使いたい食材とその産地や栄養素などについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを話そうとしている。
書くこと	<p><知識> 食材とその産地や栄養素などについて、I ate ～. I usually eat ～. ～is from… ～ is in the … group. などの表現を理解している。</p>	先生方に食べてもらいたいカレーを紹介するために、使いたい食材とその産地や栄養素などについて、例文を参考に書いている。	先生方に食べてもらいたいカレーを紹介するために、使いたい食材とその産地や栄養素などについて、例文を参考に書こうとしている。

	<技能> 食材とその産地や栄養素など について、書く技能を身に付 けている。		
--	---	--	--

5 学習の基盤

(1) 先生方に食べてもらいたいオリジナルカレーの食材とその産地や栄養素などについて、自分の考えや気持ちなどを発表することが、本単元のゴールである。第4学年時の「Let's try 2 Unit 7 What do you want?」で欲しいものをたずねる表現を学び、第5学年時の「New Horizon Elementary 5 Unit 6 What would you like?」ではその表現を発展させ、店員と客に分かれて、注文と接客のやり取りを行った。本単元では先生方に食べてもらいたいカレーを紹介するために、使いたい食材とその産地や栄養素などについて考え、オリジナルカレーを紹介する。

まず、動画の視聴から、昨日食べたもの、普段食べているカレー、食材とその産地や栄養素の概要を捉える。そして、I ate ～. I usually eat ～. ～is from …. ～ is in the … group. について、デジタル教材や教師のデモンストレーションを通して、音声で十分に慣れ親しむ。音声で慣れ親しんだ表現の例文を参考に、導入時に視聴した先生方の食べ物の好みに合うようなオリジナルカレーを話す活動に取り組む。児童が慣れ親しんだ表現や語句を活用して、「先生方は何が好きなのか」「栄養バランスは良いか」などの視点から食材を考えることで、先生方に「伝えたい」という意欲を高めることができると考える。また、わかりやすく伝えられるのかを考え、工夫することで、他者に配慮しながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うことができる単元である。

(2) 個人情報保護のため省略

(3) 本単元のゴールは、先生方に食べてもらいたいオリジナルカレーの食材とその産地や栄養素などについて自分の考えや気持ちなどを発表することである。

第1時の導入では、先生方の好みをインタビューした動画を視聴することを通して、「先生方へおすすめのカレーを紹介する」というイメージをもたせ、「先生方の好みのカレーを作りたい」という意欲を高めたい。I ate ～. を使って書く活動にも取り組む。第2時の **Starting Out** からは、昨日食べたもの、普段食べているカレー、食材とその産地や栄養素の概要を捉える。I usually eat ～. の表現を音声で慣れ親しんだ後で、普段家で食べているカレーについて書く。第3時は ～ is from… の表現を活用して、食べたものや食材について繰り返し練習した後で、普段食べているカレーの食材の産地について書く。第4時は ～ is in the … group. の表現を用いて、食べ物の栄養素について学習する。どの食材がどの栄養素になるのか、英語で様々な食材を示して考え、第3時に選んだ食材の栄養素についても書く。「自分が伝えたい先生の好みは何か」「先生が苦手な食材でも、あえて栄養バランスを考えて先生に食べて欲しいカレーは何か」を考えながら、紹介したいカレーについて構想を練る。英語の発表に自信がもてない児童には、本時で何を伝えたいのかを指導者がじっくり児童から聞くことで、児童によりよいアドバイスをする。第5時では、いよいよオリジナルカレーのポスターを作成する。どのようなカレーを紹介するのかわかりやすいように、材料の写真を貼ったり、イラストを描いたりする。Let's Read and Write①～④で慣れ親しんだ表現を参考にして、カードを見ながら紹介する活動を始める。活動に

戸惑っている児童には、基本表現を参考にして何を伝えたいのかを一緒に考えて具体的な形にしていきたい。第6時から、児童が自信をもって取り組めるようなスモールステップを踏む。まずグループで話す活動を繰り返す。ALT と JTE が伝えたい内容や発音を個別に確認した上で、発表の様子を児童同士がタブレットで撮影する。

本時となる第7時は、前時に撮影した発表の様子を視聴し、「伝わりやすい発表であったか」、「どのようにすれば伝わりやすい発表になるのか」を考える。声の大きさ、目線や表情などを再確認させたい。また、より詳しく説明したり、表現をつけ加えたりすることで、内容を充実させる場も設定する。より相手に伝わりやすい発表にするために、友だちのアドバイスを聞くことを通して、児童が考え、他者に配慮した主体的な活動となるよう指導したい。そして、「言えた」「できた」という感覚を味わい、相手に伝わる楽しさや充実感を感じさせたい。授業を全て英語ですすめることに不安をもっている児童がいるので、児童の表情を見ながら、写真等を使ったり、聞き取りやすいようにゆっくり話したり、繰り返したりするなど配慮して授業をすすめたい。

単元のまとめとなる第8時には、先生方に視聴してもらうためにそれぞれの発表の様子を動画に撮影する。併せて、発表の内容を相手を読みやすいように意識して書く活動を行う。動画の視聴後に、先生方から児童へ声がけをしてもらうことで、自己有用感を高め、達成感を味わわせ、さらに自信をもって英語を話すことにつなげていきたい。

6 指導と評価の計画（8時間）

時	目標◆ 主な活動【】◎	評価			
		知 技	思 判 表	態 度	評価規準<評価方法>
1	<p>◆単元のゴールを知る。</p> <p>◆食べたものやそれらの産地についてのやり取りのおおよその内容を理解することができる。</p> <p>○Let's sing What did you eat?</p> <p>○Let's Chant Are you hungry?</p> <p>○Small Talk Did you eat breakfast?</p> <p>○Word Link 食べ物</p> <p>【Starting Out】No.1</p> <p>【Let's Read and Write①】書く文例：I ate (curry and rice last night.)</p> <p>◎先生方の食の好みのインタビューを視聴する。</p> <p>◎食べ物についての会話(No.1)を聞いたり、動画を観たりする。</p> <p>◎わたしのせりふ①を記入する。</p>				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
	<p>◆食べたものやそれらの産地についてのやり取りのおおよその内容を理解することができる。</p> <p>○Let's sing What did you eat?</p> <p>○Let's Chant Are you hungry?</p> <p>○Small Talk What did you eat last night?</p> <p>○Word Link 食事</p> <p>【Starting Out】No.2～No.5</p> <p>【Let's Try②】</p> <p>【Let's Read and Write②】書く文例：I usually eat (beef curry at home).</p> <p>◎食べ物についての会話(No.2～No.5)を聞いたり、動画を観たりする。</p> <p>◎わたしのせりふ②を記入する。</p>				
3	<p>◆食べ物とその産地について伝え合うことができる。</p> <p>○Let's sing What did you eat?</p> <p>○Let's Chant Are you hungry?</p>				

	<p>○Small Talk What kind of curry do you usually eat?</p> <p>○Word Link 食材</p> <p>【Let's Listen①】</p> <p>【Let's Try②】</p> <p>【Let's Read and Write③】 書く文例 : (The beef is) from (Oda).</p> <p>◎Where is/was ~ from? I ate ~. ~is from... を使って、食べたものや、食べ物とその産地について伝え合う。</p> <p>◎わたしのせりふ③を記入する。</p>							
	◆食べ物がどの栄養素のグループに入るかについて伝え合うことができる。							
4	<p>○Let's sing What did you eat?</p> <p>○Let's Chant Are you hungry?</p> <p>○Small Talk What did you eat for dinner?</p> <p>○Word Link 果物・野菜</p> <p>【Let's Listen②】</p> <p>【Let's Try③】</p> <p>【Let's Read and Write④】 書く文例 : (Beef) is in the (red) group.</p> <p>◎~ is in ... group.を使って、食べ物がどの栄養素に入るのかについて伝え合う。</p> <p>◎わたしのせりふ④を記入する。</p>							
	◆先生方に紹介するオリジナルカレーについて、内容を整理したうえで、オリジナルカレーのポスターを作り、その内容を話すことができる。							
5	<p>○Let's sing What did you eat?</p> <p>○Let's Chant Are you hungry?</p> <p>○Small Talk What ○○ do you like? ~ is in the ... group.</p> <p>【Enjoy Communication Step1】</p> <p>◎紹介したいカレーの材料などの関連する写真を貼ったり、絵を描いたりする。</p> <p>◎ポスターを見ながら、紹介したいカレーを話す活動をする。</p>							
	◆ALT と JTE の中間評価を参考にして、内容を整理したうえで、相手によりよく伝わるように話すことができる。							
6	<p>○Let's sing What did you eat?</p> <p>○Let's Chant Are you hungry?</p>							先生方に食べてもらいたいカレーを紹介する

	<p>○Small Talk What kind of curry do you eat at home? 【Enjoy Communication Step2】</p> <p>◎ALT と JTE のアドバイスを受ける。 ◎タブレットを活用して、お互いの発表を撮影する。</p>			<p>発</p> <p>発</p>	<p>ために、食材とその産地や栄養素などについて簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを話している。</p> <p><行動観察></p>
7 本時	◆先生方に伝わりやすいように、発表を工夫することができる。				
	<p>○Let's sing What did you eat? ○Let's Chant Are you hungry? ○Small Talk What kind of curry do you like? 【Communication】</p> <p>◎撮影した発表をお互いに見せ合い、よりよく伝わるためにはどうすればよいのか考える。 (態度面：アイコンタクト、声の大きさなど) (内容面：紹介する食材の情報や先生方の情報等を加えるなど)</p>			<p>発</p> <p>発</p> <p>発</p>	<p>先生方に食べてもらいたいカレーを紹介するために、食材とその産地や栄養素などについて伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、動画を参考に工夫しながら、自分の考えや気持ちなどを話している。</p> <p><行動観察></p>
8	◆オリジナルカレーのポスターを見せながら、紹介することができる。 ◆音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、読みやすいように意識して書くことができる。				
	<p>○Let's sing What did you eat? ○Let's Chant Are you hungry?</p> <p>◎オリジナルカレーを先生に発表する動画を撮影する。 ◎音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、紹介した内容を書く。</p>			<p>発</p> <p>発</p> <p>発</p> <p>書</p> <p>書</p> <p>書</p>	<p>先生方に食べてもらいたいカレーを紹介するために、食材とその産地や栄養素などについて伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを話している。<行動観察></p> <p>読みやすいように意識してオリジナルカレーの食材とその産地や栄養素などについて、書いています。</p> <p><ワークシート></p>

7 本時の学習（7／8時）

(1) 本時の目標

先生方に伝わりやすいように、発表を工夫することができる。

(2) 展開

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
15分	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする ・授業の流れを知る。 <p>【Let's sing】 What did you eat? 【Let's Chant】 Are you hungry? 【Small Talk】 What kind of curry do you like? ・モデルトークを聞いた後、相づちなどを練習し、Small Talkに取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT がウォーミングアップを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. Sing 2. Chant 3. Small Talk 4. Communication 5. Reflection </div> <p>を明示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声をしっかり出せるように、一緒に歌ったり、励ましたりする。 ・ALT と JTE でモデルトークをする。 ・英語で言えなかった表現を確認する。 	デジタル教材
25分	<p>【ゴールの確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールと本時のゴールを確認する。 		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【Our Goal】 先生方に食べてもらいたいカレーを紹介しよう。</p> </div>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【Today's Goal】 先生方に伝わりやすいように、発表を工夫しよう。</p> </div>		
25分	<p>【Communication】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生方によりよく伝わるためにはどうすればよいのか考える。 ・前時に撮影した発表をお互いに見せ合い、よりよく伝わる発表にするために気づいたことを伝え合う。 ・気づいたことを踏まえて、発表を改善する。 ・ペアで発表し合う。 ・相手を変えて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT が2つのデモンストレーションを行い、より伝わる発表についての気づきを促す。 <p>◎先生方に食べてもらいたいカレーを紹介するために、食材とその産地や栄養素などについて伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、動画を参考に工夫しながら、自分の考えや気持ちなどを話している。</p> <p style="text-align: right;"><行動観察></p>	タブレット ポスター
5分	<p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに感想などを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時への見通しをもたせる。 	

8 単元の評価

		十分理解できると判断される 児童の姿	おおむね満足と判断される 児童の姿	支援を必要とする 児童の手立て
話すこと〔発表〕	知識・技能	I ate ～. I usually eat ～. ～ is from… . ～ is in the … group. などの表現を正しく話している。	I ate ～. I usually eat ～. ～ is from… . ～ is in the … group. などの表現を話している。	<ul style="list-style-type: none"> 先生の好みなどを確認し、個別に伝えたいことを一緒に考える。 ポスターに書いた情報を一つ一つ英語で伝える練習を一緒にする。イラストと英語が一致するまで何度も声に出させる。 基本表現を思い出させ、自信をもって言えるまで一緒に練習する。
	思考・判断・表現	先生方に食べてもらいたいカレーを紹介するために、使いたい食材とその産地や栄養素などについて、自分の考えや気持ちを簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手の反応を確認したり、情報をさらに加えたりするなど、他者に配慮しながら話している。	先生方に食べてもらいたいカレーを紹介するために、使いたい食材とその産地や栄養素などについて自分の考えや気持ちを簡単な語句や基本的な表現を用いて、アイコンタクトや声の大きさを意識したり、相手にポスターを見せながら話したりするなど、他者に配慮しながら話している。	
	主体的に学習に取り組む態度	先生方に食べてもらいたいカレーを紹介するために、使いたい食材とその産地や栄養素などについて、自分の考えや気持ちを簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手の反応を確認しながら、問いかけたり、情報をさらに加えたりするなど、他者に配慮しながら話そうとしている。	先生方に食べてもらいたいカレーを紹介するために、使いたい食材とその産地や栄養素などについて自分の考えや気持ちを簡単な語句や基本的な表現を用いて、アイコンタクトや声の大きさを意識したり、相手にポスターを見せながら話したりするなど、他者に配慮しながら話そうとしている。	
書くこと	知識・技能	食材とその産地や栄養素などを表す語句や表現を全て正しく書いている。	食材とその産地や栄養素などを表す語句や表現を一部の誤りはあるがほぼ正しく書いている。	例文を参考に四線に文字をおさめるなど、丁寧に書くことを意識するよう、個別に支援する。
	思考・判断・表現	先生方に食べてもらいたいカレーを紹介するために、使いたい食材とその産地や栄養素などについて、自分の考えや気持ちを文字と文字、語と語の間隔に適切なスペースをおいて、適切に書いている。	先生方に食べてもらいたいカレーを紹介するために、使いたい食材とその産地、栄養素などについて自分の考えや気持ちを、四線を意識して書いている。	

主体的に学習に取り組む態度	先生方に食べてもらいたいカレーを紹介するために、使いたい食材とその産地や栄養素などについて、自分の考えや気持ちを文字と文字、語と語の間隔に適切なスペースをおいて、適切に書こうとしている。	先生方に食べてもらいたいカレーを紹介するために、使いたい食材とその産地、栄養素などについて自分の考えや気持ちを、四線を意識して書こうとしている。	
表現の例		This is my happy curry (for Mr./Ms. ~) . The beef is from Oda. Beef is in the red group. The rice is from Sanbe.	

Curry

